



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 2024年度 成果発表 (部門)



NO	種類	発表部署名	ページ
1	センター	がん診療センター (化学療法、相談、ゲノム含む)	1
2		健診センター	3
3		遺伝相談室	5
4		認知症疾患医療センター	7
5	院長直下	医療安全推進室	9
6		感染対策室	11
7		教育研修センター	13
8		QMセンター	15
9	看護部	看護部	17
10	薬剤部	薬剤室	19
11		臨床研究管理室	21

NO	種類	発表部署名	ページ
12	医療技術部	放射線診断技術科	23
13		放射線治療技術科	25
14		臨床検査技術科	27
15		リハビリテーション技術科	29
16		臨床工学科	31
17		栄養管理室	33
18		臨床支援技術科	35
19		地域医療支援センター	地域医療連携室
20	入退院管理室		44
21	医療・福祉相談室		46
22	事務部	病院総務課	48
23		医事課	50
24		経営企画課	52

## 2024年度 診療数値目標の達成状況

### 2024年度成果

# がん診療センター

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
がん遺伝子パネル 検査件数	129件	80件	87件 (今後説明入 ると110件)



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
最新のがん診療 実施体制の構築	がん遺伝子パネル検査・がん遺伝カウンセリング 件数の維持	◎～×
	遺伝カウンセラーの確保・育成	×
7大がん 地域連携パスの推進	啓発活動の継続による地域連携の推進	△

- ・来るゲノムフルシーケンシング検査への準備: △  
まだ何も情報がないので対策も打てない  
しかし、地道な勉強が必要(坂口、瀧浪を中心に)

## 提示目標以外に特筆すべきこと

- ・静岡県がんゲノム連携病院初の  
自前でのExpert panel開催

従来、がん遺伝子パネル検査は県立がんセンターがん遺伝子専門医を中心としたグループによるExpert panel会議にWeb会議参加した結果を患者さんに報告することで評価提供料を算定できる

2025年3月からは瀧浪、坂口、榛葉らを中心としてexpert panel会議を自前開催している

システム構築には伊藤隆さんはじめ多くの事務さんに協力していただきました。



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

## 2024年度の目標達成に向けた取組み①

目標は概ね達成

ただし、遺伝カウンセラー養成は喫緊の課題であり、  
病院としてどのような形でサポートするか検討が必要



## 来年度に向けた決意表明

- ・がんゲノム医療先端病院としての地位確立
- ・ロボット支援下手術含む最新鋭がん治療への  
取り組み強化
- ・常勤遺伝カウンセラーの確保、育成



## 2024年度成果

# 健診センター



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	自宅パソコンやスマートフォンからのインターネット利用による予約、問診入力、健診結果の閲覧が可能となるサービスの円滑な運用開始。健診利用者への周知、啓発	△
2. 生き活きと働ける職場環境	仲間を思いやり、活気があふれる職場の実現 時間外勤務の標準化と36協定の遵守	△
3. 地域ニーズへの対応	健診結果の迅速な送付に向けたシステム等の見直し 磐田市が推進するヘルスケアアプリ実証実験への参加	○
4. 経営基盤の更なる強化	ご利用者に選ばれる健診センターへの取組 労災二次健診の受診勧奨と受診件数の向上	△



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
1日人間ドック稼働率	77%	80%	81%
企業健診稼働率	81%	82%	83%
オプション検査売上比率	114%	115%	111%
インターネット予約枠数に対する予約件数の割合	—	60%	36% ※

※ 予約方法として受診時の1年後予約が定着してきており、全体枠配分の中でやむを得ずWeb予約枠を通常予約枠に変更して対応したため



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### ① 稼働率向上

- ・ 大口顧客の予約枠早期開放
- ・ 受診時の1年後予約の定着
- ・ Web予約開始

### ② 稼働額向上

- ・ 予約時、問診時の追加オプションの勧奨

### ③ サービスの向上、ニーズへの対応

- ・ ドック食の「スマートミール認証」を取得 →2024/8/1
- ・ JMS ジャパンマンモグラフィーサンデーの実施 →40名受診
- ・ 磐田市「健幸」アプリ実証実験への参加 →5,000人超にQRコード配布



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### ④ 経営基盤の強化

- ・ 労災二次健診の受診勧奨と受診件数の向上  
受診者のうち対象となる方を抽出し、健診結果に受診勧奨の案内を同封  
当院受診者数 → 12月末まで 162件 (前年同期 171件)
- ・ 特定保健指導実施率の向上  
保健指導に専念できる保健師の確保  
上半期実施率 48.5% → 12月 75.7% 1月 90.9%

### ⑤ 職場環境の整備

- ・ 時間外勤務の平準化と36協定の遵守  
病気等による欠員発生への対応が課題



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

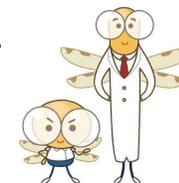
## 来年度に向けた決意表明

医療情報システム更新による業務効率化の推進

健診事務委託業務のスムーズな移行

院内紹介増加対策の推進

- ・ サービスの質の向上に努めます
- ・ 既存受診者の定着、新規顧客の獲得に努めます
- ・ 継続かつ安定的な収益性の確保に努めます



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度成果

# 遺伝相談室



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	遺伝子診断が必要な症例に関して、丁寧な診察と遺伝カウンセリングを行い、診断に結びつける	○
2. 生き活きと働ける職場環境	遺伝専門医としての診療を維持できるよう、小児科一般業務やその他業務との調整を行う	○
3. 地域ニーズへの対応	非侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)への対応を行う	○
4. 経営基盤の更なる強化	遺伝専門医の維持による認定施設の維持	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
保険適応のある遺伝子検査 提出件数	3	必要数	なし
保険適応外の遺伝子検査件数	4	必要数	なし
診断率(%)	40	—	—

### 【2024年度 目標値について】

ニーズ等に左右されますが、遺伝子診断が必要な症例に関して積極的に実施し診断に結びつけていきます。



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- NIPT非侵襲性出生前遺伝学的検査  
(昨年度から)が行われるようになった
- がんゲノム診療での院内エキスパート  
パネルが開始され、対応を行っている



## 来年度に向けた決意表明

---

- NIPTを実施する医療機関(連携施設)

- がんゲノム医療連携病院

上記の施設条件維持には常勤の臨床遺伝  
専門医が必要

今後も臨床遺伝専門医としての診療を続け  
ながら、施設に貢献をしていきたい



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
認知症鑑別件数	42	40	57
専門医療相談件数	243	250	302
認知症専門診断管理料 <sup>1</sup>	12	15	21

## 2024年度成果

# 認知症疾患医療センター



## 2024年度 重点目標の達成状況

### 3. 住民の安心した暮らしを支えていくための活動の充実

項目	目標	達成度
1. 地域の医療機関との役割分担・連携強化、介護福祉施設との連携	<b>地域の中心的なセンター機能としての役割</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介と逆紹介を円滑に進める</li> <li>認知症施策におけるセンターとしての役割を周知</li> <li>地域の医療機関等のスタッフを対象とした認知症ケア研修や交流会の実施</li> </ul>	○

## 2024年度 重点目標の達成状況

### 3. 住民の安心した暮らしを支えていくための活動の充実

項目	目標	達成度
2. 疾病予防啓発・重症化予防に向けた貢献	<b>地域全体の医療の質向上への貢献</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の関係職種に向けた認知症ケア研修の開催</li> <li>地域住民に向けた講演会等の実施</li> </ul>	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 1. 地域の医療機関との役割分担・連携強化、介護福祉施設との連携

- 認知症疾患医療センター周知のため、リーフレットを送付  
磐田市医師会、磐周医師会  
院外からの紹介医療機関増加  
26医療機関(2023年度)→30医療機関(2024年度1月末)
- 地域の医療機関や訪問看護ステーションの職員を対象とした認知症ケア研修の開催  
月1回開催 今年度末5期生(17名)終了予定
- 認知症ケア研修1~5期生を対象とした交流集会の開催  
(2025.2.5開催)  
参加人数: 22名 (2023年度 19名参加)



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 2. 疾病予防啓発・重症化予防に向けた貢献

- 認知症の人を生活場面で支えている施設職員を対象とした研修の開催 《今年度新規企画》  
対象者: 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症高齢者GH職員  
テーマ: 認知症の特徴と支えるための支援  
開催形式: 同じ内容で2回開催 (10月23日、11月20日開催)  
参加人数: 看護師、介護福祉士、介護士、栄養士等  
各回23名参加
- 近隣医療機関より認知症研修に関する講師依頼 2回
- 一般市民を対象とした認知症研修に関する講師依頼 2回
- 行政主催の関係職種を対象とした研修会の講師依頼 1回



## 来年度に向けた決意表明

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持ち、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援を目指します。

地域の医療機関から紹介された認知症鑑別診断に取り組み、院内・院外問わず認知症施策の関係機関と引き続き情報交換及び連携を図り、認知症の発症予防や悪化予防に努め、地域生活の維持に必要な医療や情報を提供していきます。



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
医師からのヒヤリハット、 オカレンスレポート数	100件	200件 (研修医10件/人)	100件 (研修医12件)
医師/看護師 率	3.9%	10%	4.4%

## 2024年度成果

# 医療安全推進室



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療 の実現	改善策を評価し部署のレジリエンスを高める 医療の質向上 医師の医療安全活動を促進	○
2. 生き活きと働 ける職場環境	心理的安全性の向上	△
3. 地域ニーズ への対応	地域連携医療安全相互チェックの継続:近隣病院との安全 度のベンチマーク策定	○
4. 経営基盤の 更なる強化	加算が得られる医療安全対策の強化:リスクレベル「中」以 上の患者の血栓塞栓症予防対策の実施の向上	○

## 2024年度の重点目標達成に向けた取り組み

	年度重点目標	具体策	指標	結果
①	改善策を評価し 部署のレジリエ ンスを高める	・改善策担当部署の明確化 事例が起こった部署として取り組 む	1例/部署	分析事例・警鐘 事例分析:47例
		・定期的に担当部署を評価 改善策の効果判定: 改善策の実施率測定	>80%	各検査における 注射認証率:60 ~95%
②	医療の質向上	活動結果の可視化	<5%	0.4%
		・入院患者の転倒・転落発生率 ・入院患者の転倒転落による3b以上 の発生率	<0.1%	0.014%
		・リスクレベル「中」以上の患者の血 栓塞栓症予防対策の実施率	>25%	25.5%
		・チェックリストの実施率	>80%	

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の重点目標達成に向けた取り組み

年度重点目標	具体策	結果
③ 医師の医療安全活動を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師からのヒヤリハット、オカレンスレポート数を増やす               <ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤部からの研修医の処方疑義照会事例を教育研修室に報告し管理する</li> <li>各部署でのヒアリングを通して得られた状に基づいて医師に報告を促す</li> </ul> </li> <li>勤務時間内での医療安全研修会開催 集合研修から動画配信を主とした個別研修、短時間、昼食時を有効活用</li> </ul>	<p>周知が足りず報告数は数例のみ</p> <p>M&amp;Mカンファレンス3例</p> <p>参加率 &gt; 90%</p>



## 来年度に向けた決意表明

- 目標値を明確にして見える化をした活動を重視します。
- 機械認証、AI技術を導入し人への負担を減らします。
- 医療者・患者・家族間とそれぞれにおける心理的安全性を担保します。



## 2024年度成果

# 感染対策室



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
血液体液曝露件数	36件	32件以下	25件
全職員対象研修受講率	95.8%	95%以上	97.7%
緑膿菌のカルバペネム感性率	97%	97%以上	98%



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 多剤耐性菌対応	・ラウンドによる感染対策実施状況の確認とフィードバック ・手指消毒剤使用状況の確認とフィードバック ・発生時の介入	○
2. 診療報酬改定への対応	・感染対策向上加算1の取得 介護保険施設等との連携 ・指導強化加算の取得	○
3. 新型コロナウイルス感染症対策の実施	・院内発生時の対応 ・他施設と連携し対応を検討、見直し	○



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 多剤耐性菌対応

手指衛生実施状況(使用量含む)の確認  
ガイドラインに準じた経路別予防策の実施  
抗菌薬適正使用の推進

### 血液体液曝露予防対応

#### 【発生部門と対策を検討】

手術室:手術会議で月ごとの発生事例報告と対策を検討  
看護部:朝の師長会、看護部感染予防委員会内で発生事例報告と対策を検討  
教育研修室:発生事例報告と手術室と共同し対策を検討  
次年度4月研修内容に曝露予防対策を組み込む

#### 【教育】

全職員対象研修会、看護部ヘルパー委員会勉強会の開催  
静脈留置針・血液ガス採取キット作動方法の説明会と実演実施



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 診療報酬改定への対応

感染対策向上加算1取得基準に準じた対応  
年4回以上、中東遠地域の医療機関とのカンファレンス  
感染対策向上加算2・3取得4施設への訪問  
他施設と対応についての連携

### 新型コロナウイルス感染症対策の実施

院内でのマスク着用と手指衛生を継続  
スクリーニング検査の見直し  
発症した陽性者の早期での拾い上げを徹底  
対応する際の个人防护具を見直し  
空気予防策追加時のクリーンパーティション管理方法の整備  
院外での流行状況情報の収集と共有



## 来年度に向けた決意表明

院内感染を防ぐために院内の各部署、

他施設、保健所等と連携し

最善を尽くします



## 2024年度成果

# 教育研修センター



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	臨床研修指導医の育成拡大	○
4. 経営基盤の更なる強化	初期臨床研修医マッチング応募者数	×

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
臨床研修指導医の育成拡大	43名	47名	48名

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
マッチング応募者数	42名	46名	34名



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 【臨床研修指導医の育成拡大】

各診療科の指導医配置計画に基づき必要性を共有し進めた。

### 【初期臨床研修医マッチング応募者数】

東京で開催されるレジナビ東京(全国病院合同説明会)、静岡県病院合同説明会等へ5回以上出展参加。また、独自開催の磐田病院説明会を2回開催した。



## 来年度に向けた決意表明

---

### 【臨床研修指導医の育成拡大】

各診療科の指導医配置計画に基づき必要性を共有しさらに推し進めます。

### 【初期臨床研修医マッチング応募者数】

病院合同説明会等での事前周知方法等を再考し医学生ニーズに沿った情報提供を行います。



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
TQMの認知度 (概算(推定)割合%)	5~10	30~50	30~50?

## 2024年度成果

# QMセンター

### TQM講演会のお知らせ

『磐田市立総合病院でのTQM』

日時：令和6年6月3日(月)  
15:00~16:15

場所：本館2階講堂

対象：全職員

講師：麻生飯塚病院  
医療のTQM推進協議会  
理事長 安藤 廣美 先生

※当院職員であれば誰でも参加可能です。  
※特に、下記の活動に関わっている人は是非、ご参加ください。  
TQM、医療安全、感染対策、業務改善、5S活動、QIなど

### 2024年度 TQM発表会

～5S・業務改善コンテスト～

5S

1. 耳鼻科外来  
2. 整形外科  
3. 4階放射線科  
4. 救命救急センター

業務改善

1. 外科  
2. 耳鼻科外来  
3. 救命救急センター  
4. 医療情報部

日時：2/12(水) 16:00~  
場所：周産期講堂

Total Quality Management

職員の間でも  
下記の通りTQM講演会を開催します。

日時：6月3日(月)15:00~  
場所：本館講堂  
対象：全職員  
内容：磐田市立総合病院でのTQM  
内容は添付ファイルをご参照ください。

※TQMとは  
Total Quality Managementの略  
「総体的に仕事の質・サービスの向上を継続的に行うもので、仕事の質を高めるための一つの手法」を意味します。

問い合わせ：経営企画課(伊藤+6387)



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	QI (Quality Indicator)情報を共有し、病院全体の医療の質の向上に貢献する。	△*
2. 活き活きと働ける職場環境	職員の資格取得状況を把握し、「人財」育成促進に寄与する。	△
3. 地域ニーズへの対応	患者サービス向上・改善に関して病院全体の改善活動を組織横断的に把握し協力していく。	△*†
4. 経営基盤の更なる強化	選ばれる病院になるべく、医療の質・安全文化の風土作りの一翼を担えるような部門を目指します。	△*

\* 医療安全、5S、業務改善などとも関連して  
† 診療録管理委員会の紙→メール督促、紙カルテ/手術動画貸し出しの電子申請自動化展開協力など

## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

- 改善活動として「OUTPUT(結果)」だけでなく、「OUTCOME(効果)」にもこだわる意識を持ちながらあるべき姿を探し続ける。
- 各種QI情報(全自病QI、日本病院会QI、DiNQL、がん診療連携拠点病院現況調査など)の情報共有から、病院全体の医療の質の向上に貢献できるように提言・活用法を議論する。
- 職員の資格取得状況の把握における総務課と経営企画課との協力体制への関与、「人財」育成促進への提言・協力がどのような形でできるのか引き続き検討していく。
- 5S/業務改善活動・コンテストへの関与を強める。横展開活動の声かけ・推進に協力していく。

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成

## 来年度に向けた決意表明

---

### 「TQM: Total Quality Management」

(全員・全体で、医療・サービスの質を、継続的に改善・向上させていく)

という言葉や概念が職員に認知され、風土となるように

現場・委員会・医療安全活動などで発信していきます。

(バックボーンの明確化、横系を通していくようなイメージです。)

を来年度はさらに強化していきます(模索状態から進化させていきます)。



## 2024年度成果

# 看護部



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
退院時共同指導料算定件数	75件	80件	75件 (7.5件/月)
在院日数	10.0日	10.0日	9.6日
短期滞在手術件数	199件	250件	180件 (18件/月)



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	安全安心で良質な看護の提供 ・チーム医療 ・地域連携の強化 ・患者の尊厳の保持	○
2. 生き活きと働ける職場環境	働きがいのある、働き続けられる職場環境の整備 ・業務改善による負担軽減 ・人材確保 ・医療DXの推進	△
3. 地域ニーズへの対応	自律した看護師の育成と活用 ・人材育成 ・特定行為看護師の活用	○
4. 経営基盤の更なる強化	病院経営への参画 ・効率的な病床運営 ・短期滞在手術がスムーズに受けられるようなシステム作り	○



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- 安全安心で良質な看護の提供→○
  - ・チーム医療:多職種カンファレンスの推進
    - ・・・退院時共同指導料(6.3件→7.5件/月)や介護支援連携指導料件数(8.9件→11.7件/月)は増加している
  - ・地域連携の強化:退院後訪問を行い、在宅療養支援に繋げる
    - ・・・退院後訪問件数18件(4月～1月)と2023年度の年間訪問件数よりも1月の時点で15件増加している
  - ・患者の尊厳の保持:身体拘束を最小限にするために病棟特性を活かし、取組みを計画する
    - ・・・各病棟で計画を立案し、実施している。2023年度の拘束率は46.3%/月であったが、今年度は42.8%/月と下がっている



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 2. 働きがいのある、働き続けられる職場環境の整備

→△

- ・業務改善による負担軽減:入院業務の見直しと課題の抽出
  - ・・・WGが立ち上がり、他病院の情報収集を行いながら、当院の状況に合わせて業務内容を検討中
- ・人材確保:リクルート活動の広域化
  - ・・・学校主催の就職説明会には参加しているが新たな学校訪問は今年度は実施しなかった
- ・医療DXの推進:自動勤務表作成システムの有効活用
  - ・・・現在、自動勤務表作成システム導入に向けて試行中  
今後はさらに有効活用できるようにしていく



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 3. 自律した看護師の育成と活用→○

- ・人材育成:キャリア開発支援のためのシステム作り
  - ・・・当院の経営状況を鑑みて、今年度は現状調査のみ実施
- ・特定行為看護師の活用
  - ・・・1期生2名を含めた特定行為看護師7名で、2/18時点で106件の行為を実施。現在、2期生6名養成中

### 4. 病院経営への参画→○

- ・看護の質を維持しながら病床運営を進める
  - ・・・他部門の協力も得ながら、適切な病床運営を実施
- ・短期滞在手術がスムーズに受けられるようなシステム作り
  - ・・・入院支援業務の拡大のためにWGを立ち上げた



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明

「変わることを恐れるな。

変わらないでいることを恐れよ。」

By ジョン・C・マックスウェル

看護部は地域や患者のニーズの変化を踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、院内だけではなく院外の多職種の方々との連携も強化していきたいと考えます。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度成果

# 薬剤部 薬剤室



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
薬剤管理指導実施率(%)	90.2	90以上	90.1
退院時指導実施率(%)	64.0	65	63.0
総合評価調整加算(件数/年)	75	90	127
退院時薬剤連携加算(件数/年)	73	80	46
連携充実加算(件数/年)	100	110	85



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	人材確保への取り組み強化	△
2. 生き活きと働ける職場環境	認定・専門などの資格取得の推進	○
3. 経営基盤の更なる強化	がん薬物療法体制充実加算(新設)の取得	○



## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

### <人材確保への取り組み強化> △

- リクルート活動の強化 病院見学 5件  
合同説明会や就職関連イベントへの参加  
中学・高校への訪問 など
- 教育研修プログラムの整備  
薬剤師臨床研修ガイドラインに沿ったプログラムを作成  
運用に向けて調整中

### <認定・専門資格の取得の推進> ○

- 新規取得: 認定実務実習指導薬剤師1名  
抗菌化学療法認定薬剤師1名



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### <がん薬物療法体制充実加算の取得> ○

- 薬剤師外来として2024年10月より取得開始  
→2025年1月までに8件取得

- ・診察前の副作用症状把握とそれに伴う処方提案  
→医師の診察時間の短縮
- ・ePROアプリを併用し、自宅での患者状況の把握が可能に  
→重篤な副作用やアレルギー症状に迅速に対応



## 来年度に向けた決意表明

薬剤師・病院スタッフ・地域の連携を強化し  
薬剤師業務の質を向上させ  
患者からもスタッフからも信頼され  
学生からも選ばれる  
魅力あふれる薬剤部を目指します。



## 2024年度成果 薬剤部 臨床研究管理室



### 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	質の高い医療や新しい医療の実現にむけた治験・臨床研究への積極的な参加	○
2. 経営基盤の更なる強化	集患＝被験者母数の増加＝依頼の可能性↑ HPと広報の継続、CRC等の質向上	○
3. 生き生きと働ける職場環境	人材のトータルマネジメントの推進 (教育研修プログラム等)	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



### 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
新規治験契約件数	2件	2件	3件
法下臨床試験患者対応数	15名	21名	23名

倫理指針研究における  
重大な不適合発生“0(ゼロ)”！！ ○



### 2024年度の目標達成に向けた取組み

#### 新規受託/新しい医療の実現 国内治験トレンドの感知と参画

NHA治験ネットワークへの新規登録  
DCT Japan(分散型治験システム)新規契約  
静がん遠隔同意システム新規連携

- ・依頼(実施)件数の増加
- ・収益の増加



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 人財のトータルマネジメント 臨床研究研修会の活用

- = 研修医オリエンテーション講義(初)  
(日本専門医機構認定講習として)
- = 新人看護師への講義  
(研究倫理研修として)



## 来年度に向けた決意表明

ドラッグロス/ラグの解消に向け、今年度から国策として「治験エコシステム」への取り組みが進められています。IRBのセントラル化、同意説明文書の共通化、手順の合理化、DX化へ迅速に対応できるよう情報収集と体制構築を進め、質の高い医療・新しい医療が継続できるよう努めます。

また臨床研究では、研究公正/倫理への理解を深めていただけるよう、研究者教育にも引き続き尽力していきます。



## 2024年度成果

# 放射線診断技術科



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
3T外来検査率	84.45%	85%	84.5%
医師レスでのRI注入率	97%	99%	100%
<b>新規加算検査</b> 頭部MRI検査数(外来) 乳房トモシンセシス	158/月 111件/月	180件/月 115件/月	180件/月 141件/月



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 経営改善への 取り組み	・画像管理加算3,各種加算検査数増加の 取り組み 関連する施設基準に対応する取り組みを強化	○
2. 人材の育成と確保 質の高い医療の 提供	・専門技師、認定資格取得 ・臨床学会の充実 ・実習生の受け入れ ・人材確保のためのリクルート活動	△
3. 質の高い医療の 実現 医療機能の充実	・医療被ばく低減施設認定取得(R7年) ・脳血管疾患への取り組みの充実	○



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

### ① 経営改善への取り組み

#### ○ 画像管理加算3の施設基準取得の取り組みの協力

- ・MRI安全管理、適切な被ばく管理、画像人口知能安全精度管理  
→画像診断管理認証機構の認証施設取得
- ・夜間、休日の画像診断体制、検査前画像診断管理  
→24時間体制整備と体制整備



新規頭部MRI加算の算出, 他加算検査(心臓MRI・CT,乳房MRI)継続

画像管理加算2:180点→画像管理加算3:235点

今年度読影数3093件/月

7,153,400円(2に比較して1,701,150円増収)



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### ②-1. 人材育成と確保

#### △世代を考慮した計画的な認定資格取得

- 胃がん検診認定技師→1名取得、  
核医学認定→8月受験:不合格 来年へ  
医療情報技師→1名取得、乳腺撮影技師→1名

#### ○実習生の受け入れ→鈴鹿医療1名、静岡医療3名

- ・診療放射線技師臨床実習指導者講習会2名(現在4名受講済)
- ・臨床実習指導者認定1名取得、

#### ○人材確保のリクルート活動

- ・鈴鹿医療:ZOOM、静岡医療:面談

### ②-2質の高い医療の提供と実現

#### △医療被ばく低減施設認定取得に向けた取組み

- ・浜松医療センターへの見学; **自己評価票の確認状況50%**
- ・今年度: **放射線管理士3名増加、放射線機器管理士5名増加**



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### ③ 医療機能の充実

#### ○ 新規CT装置を使いこなす

- ・AIカメラを使用した効率的な運用とAI再構成のノイズ低減画像による画質向上と被ばく低減(低減率20~50%)→済

国内1号機

月刊新医療3月号で紹介



#### ○ 新規頭腹血管撮像装置は更新

- ・腹部・四肢IVRの質の高い治療を提供
- ・脳外科IVR専門医による検査数増加に対応  
2023年頭部IVR件数27件、2024年10か月で41件
- ・患者・術者の被ばく低減効果大



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明

### ○人材を磨く

専門、認定取得により質の高い専門性

### ○診断機器を使いこなす

各機器の最適化  
被ばく低減施設取得への取組み



医療の質向上  
顧客満足度向上

### ○経営への貢献

検査数管理・施設基準の管理



利益向上

### ○情報管理

電子カルテ更新への対応  
DXの活用・AIの活用



働き方改革  
病院力向上



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
放射線治療実人数	373人	400人	330人
定位放射線治療実施件数	52件	70件	38件
外部照射治療のIMRT割合	53.9%	50%以上	57.2%

## 2024年度成果

# 放射線治療技術科



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	高精度放射線治療機器を有効活用し、全治療件数における高精度放射線治療の高比率(50%以上)の維持	○
2. 地域ニーズへの対応	緩和を目的とした放射線治療の普及 →がんと共存していく治療手段・がん闘病における生活の質を向上	△
3. がん医療	地域がん診療連携拠点病院として、最新技術への対応整備とそれに対応する人材の育成	×

## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

### ◆ 充実した事前説明と情報提供

- 治療プロセスや副作用、注意点をわかりやすく伝えた
- 音声入り動画を用いた標準化された説明資料の作成

### ◆ 正確な治療計画と患者セットアップ

- シミュレーションや画像誘導技術(IGRTなど)を駆使し、正確な照射を実施
- 患者ごとの最適な固定具の考案や照射計画の作成

### ◆ 定期的な経過観察とフォローアップ

- 治療中の副作用やトラブルを早期に発見し、適切な対策を講じた
- 患者からの疑問や不安に迅速かつ丁寧に対応した

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### ◆ チーム医療としての連携強化

- 日々のカンファレンス等、フィードバックの仕組みを通じて、医師、看護師、その他スタッフと情報を共有し、治療計画の改善や調整、継続的な治療環境の最適化に努めた

### ◆ 品質管理の徹底と業務の効率化

- 医師業務の補助として、臓器の輪郭描出、放射線治療計画の作成及び線量分布の最適化の実施
- QAツールを積極的に活用し、機器の定期点検やトラブルシューティングを通じて、治療の安全性と精度を向上させ、計画通りの治療を実施
- 治療装置空き時間を利用した、QA・QC、治療計画検証業務の実施



## 来年度に向けた決意表明

- ◆ 正確な治療計画の実施と心のこもった患者サポートに努めます
- ◆ 厳格な品質管理により最適な線量計算と機器管理を保証します
- ◆ PDCAサイクルを活用し、継続的な改善と自己研鑽を実践します
- ◆ 医療チーム全体で連携を強化し、信頼性の高い治療提供に全力を尽くします



## 2024年度成果

# 臨床検査技術科



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
外部精度管理調査(総合評点) (日本臨床衛生検査技師会/静岡県臨床衛生 検査技師会/日本医師会)	98.5点	95点以上	98.5点
ご意見記録簿報告数 (要望、苦情、ご意見、改善提案、 外部監査の指摘など)	4.8件	月7件以上	5.0件
認定資格取得・指定研修修了 (のべ人数)	18名	15名以上	15名
地域医療従事者研修受け入れ	13名	15名以上	9名
採血待ち時間20分以内の比率	85.4%	90%以上	93.5%



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療 の実現	質の高い検査の提供	○
2. 生き活きと働 ける職場環境	キャリアプランへの支援/人材確保 業務改善/ワークライフバランスの推進	○
3. 地域ニーズ への対応	地域医療従事者の研修受け入れ がんゲノム医療コーディネーター育成 輸血細胞治療管理業務の充実	△
4. 経営基盤の 更なる強化	課題解決力、経営的視点をもった技師の育成	△



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- ① 「品質保証施設認証制度」認証取得 ○ 2024.6.1～2026.5.31  
日本臨床衛生検査技師会  
10部門: 臨床化学、免疫血清、血液、細胞、一般、生理、輸血、病理、遺伝子
- ② ISO15189認定維持 ○  
2025年3月に中間審査(2012年度版から2022年度版へ)  
受審に向け準備中
- ③ 複数の業務スキルを持つ人材の育成 ○  
複数分野の兼務  
タスク・シフト/シェアに関する指定講習会 7名  
静岡県肝炎医療コーディネーター 7名  
精度管理責任者 1名
- ④ 時間外勤務の削減 ○  
36協定達成率:100% 最多時間20%減少(2023年度比)



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- ⑤ リクルート活動、病院実習・見学の受け入れ ○  
病院実習(臨床検査:8名、助産:7名)、病院見学12名
- ⑥ がん診療センター業務の充実 ○  
新規検査契約 2件  
がんゲノム検査に対応できる技師の育成 2名
- ⑦ 輸血細胞治療管理業務の充実 ○  
患者・患者家族への垂型説明を開始 2件実施
- ⑧ 研修会への参加 ○  
ロジカル・コミュニケーション、医療DX、診療報酬、医療経済、病院運営研修会  
医療技術部門管理者研修
- ⑨ 検査関連収支の共有 △  
検査料収益と支出の把握と科内共有、情報発信



## 来年度に向けた決意表明

「信頼される検査室」

～院内からも院外からも

目標とされる検査室になる～

“医療の原点は思いやり”の基本理念のもと  
仲間を思いやり、フィードバックし合える  
職場の実現を目指します



## 2024年度成果

# リハビリテーション技術科



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
1. PT・OTスタッフ1人・ 1日あたりの単位数	16.7単位	17.0単位	15.8単位
2. がんリハ実施件数	6,713件	6,800件	5,680件
3. 総算定点数	29,648,520点	30,000,000点	23,700,677点



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療 の実現	リハ・栄養・口腔連携体制加算のデモを開始する。	○
2. 生き活きと働 ける職場環境	患者業務に注力できる協力体制を構築する。	△
3. 地域ニーズへ の対応	地域に受け皿のない患者さんに対して当院で連携可能なシステムをリハ医師、地域のスタッフと共に構築する。	○
4. 経営基盤の 更なる強化	取得単位数・加算点数を向上する。	×



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

リハ・栄養・口腔連携体制加算デモ結果①(2024年6月～8月)

1. 土日祝日リハビリテーション実施状況(平日の8割以上)  
: 93.2 % **達成**
2. 入棟患者3日以内の疾患別算定開始が8割以上  
: 88.9 % **達成**
3. ADL低下3%未満  
: 3.3 % **未達成(乳癌3名、TKA2名、下肢骨折1名)**

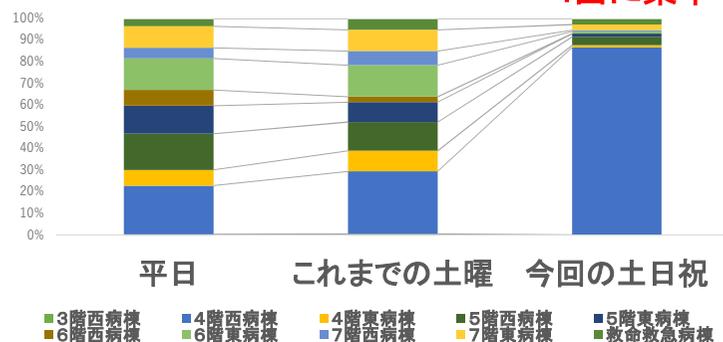


【達成度欄の表示について】○: 達成、△: 一部達成、×: 未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### デモ結果② 病棟ごとの介入比率 **4西に集中**



※ リハ・栄養・口腔連携体制加算施設基準取得見送り  
今後の診療報酬改定の動向を注視していく



## 来年度に向けた決意表明

診療報酬改定に対応し、より**早期**に、  
より**多くの**、より**質の高い**リハビリテーション  
を提供できる体制を構築します。

**ADL・QOL**向上に寄与し、地域とも連携して、  
円滑な早期退院・転院に貢献します。



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
修理対応率	70%	75%	78%
機器委託点検仮想費用	600万	650万	700万
透析施行回数	16,850	17,500	17,570
スコープオペレーター介入率	11%	30%	33%
消化器内視鏡 スコープ修理費用	800万	300万	450万
EGD・CS・EGD介助	1,350	1,600	1,600
心臓デバイス遠隔モニタリング管理	154	180	187
心・血管カテーテル清潔介助	230	250	250
アブレーション治療時3rd介入	9	60	40

## 2024年度 成果

# 臨床工学科



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	地域災害への対応強化に向けた透析バックアップ体制の構築 > 中東遠、磐田地区透析施設との連携ネットワークの強化 デジタル化への対応 > 医療DXを取り入れた医療機器の一元化中央管理の効率化	△
2. 活き活きと働ける職場環境	タスクシフトの推進・医師等業務負担軽減への実現 > バスキュラーアクセス穿刺の実施及び透析患者管理 > 腹腔鏡下手術時におけるスコープオペレーターとしての介入 > 心・血管カテーテル領域での介助業務支援体制の構築 > 消化器内視鏡検査・治療における介助業務支援体制の構築	○
3. 地域ニーズへの対応	心・血管疾患への対応 > 心臓植込み型デバイス遠隔モニタリング管理の推進 > アブレーション・クライオ治療の実施(スティム、ラボ、3D、清潔)	△
4. 経営基盤の更なる強化	診療報酬改定への影響による補填・加算を目指す > オンラインHDFの開始 (慢性維持透析濾過加算+透析液水質確保加算=60加算)	○



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### タスクシフト

- ◆ バスキュラーアクセスの管理
  - > BV計 再循環率、Kt/v 透析効率、In Body 水分代謝量の測定
  - > 昼、夜間 2クルールの技士穿刺
- ◆ スコープオペレーター
  - > 手術業務、件数に合わせた介入及びMEセンター支援
- ◆ 消化器内視鏡検査・治療
  - > 上部、下部、ESD  
対応人員の増による介入件数の増加
- ◆ 心・血管カテーテル領域における医師の負担軽減
  - > CAG、PCI、EVT、脳内IVR  
2nd、3rdの介入で症例時間、時間短縮算出 ⇒ Total 57時間の軽減



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 機器管理

- ◆内視鏡関連の効果的な機器、器材類の管理
  - 修理内容、費用等データの共有
  - 先端保護チューブの導入
- ◆サプライ備品、器材類の適正管理
  - サプライセンターへの人材活用
  - 手術備品、器材類の点検

### 災害時連携

- ◆災害時透析施設連携ネットワークの強化
  - 市内施設による第2種拠点施設の見学
  - 市行政との情報収集ツールの構築(LINEワークス)
  - 県庁 総合防災訓練の参加(人工透析リエゾン)
  - 患者参加型火災、防災訓練



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 専門・広報

- ◆専門性スキルの向上
  - 各種専門、認定の取得(不整脈治療、透析技術、呼吸療法、透析災害JHAT、滅菌技士)
  - 各種学会、セミナーでの講演、発表(20演題)
- ◆機器展示広報イベントの開催
  - アピタ磐田、かたりあ 安全防火フェア
- ◆部長・技師長会の定期開催
  - 情報共有、教育研修、イベントの提案

医療機器に関連する事は各所にあり、  
自分たちの強み、極みを活かせるもの。  
また、それに付随するものも同じ。



## 来年度に向けた決意表明

# 原点回帰

～安全、信頼、貢献、協働、進化～



## 2024年度成果

# 栄養管理室



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
化学療法室での件数	491件	600件	565件
周術期栄養管理実施加算件数	1,321件	1,600件	1,646件
入院栄養指導件数	1,553件	1,800件	1,415件



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	がん患者への対応 外来化学療法室での栄養相談	○
2. 働き活きと働ける職場環境	ワークライフバランスの推進 有給休暇取得の促進 10日以上取得 部分休業取得の推進 資格取得者への研修推進	○
3. 地域ニーズへの対応	開業医からの栄養指導受託 リエゾン外来での栄養指導	△
4. 経営基盤の更なる強化	GLIM診断基準による低栄養の重症度判定 4西病棟に管理栄養士配置	△



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 質の高い医療の実現  
外来治療室では、初回治療を行う患者に対し、栄養指導。継続指導が必要な患者をスクリーニングし介入。
2. ワークライフバランスの推進  
有休休暇についてはスタッフ同士業務を分担し概ね10日の取得。  
今年度ががん病態栄養専門管理栄養士を2名取得。



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

3. 地域ニーズへの対応  
リエゾン外来にて管理栄養士の介入を行い適切な栄養管理
4. 経営基盤の更なる強化  
4西病棟でのGLIM基準を用いた単科型NSTの開始  
転院先に栄養情報提供書を同封し「栄養情報連携料」取得に繋げた



## 来年度に向けた決意表明

地産地消に取り組み患者さんにとって喜ばれる食事を目指す。

食事を通し積極的に栄養指導を行う

約束食事箋を改定し、厨房運営の安定化も図っていく。



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

### 2024年度成果

# 臨床支援技術科 臨床支援士

項目	月平均	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
診断書修正依頼件数	約20件	月10件	月平均 16.9件
返戻率	約2.5%	1.25%	1.96%

診断書作成件数は月によりばらつきがあるため、返戻率1.25%以下を目標に、修正依頼件数を減らしていきたい。



## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

医師承認後の診断書を、提出前に最終チェックし誤字脱字がないか確認を心がけた。

執務室に毎月の返戻件数を掲示し、返戻数削減の意識付けをした。



## 来年度に向けた決意表明

修正依頼件数、返戻率共に減らすことはできたが、目標値は達成出来なかったため、来年度も引き続き取り組みを続け、患者様へ診断書をお渡しできる期間の短縮に繋がっていきたい



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
周術期口腔機能管理Ⅰ・Ⅱ件数	1000件	1000件	1154件
周術期口腔機能管理Ⅲ件数	1700件	2000件	2598件
摂食機能療法介入件数	—	700件	1019件
口腔機能管理	—	300件	269件

## 2024年度成果

# 臨床支援技術科 歯科衛生士



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	専門資格取得	○
2. 地域の医療機関との連携	歯科衛生士連絡書の活用	○
3. 生き生きと働ける職場環境	診療クラークとの業務分担	○
4. 役割・機能の最適化と連携強化	生活習慣病に関する多職種連携によるチーム医療の推進	○

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・周術期口腔機能管理
  - ・6月の診療報酬改定で範囲拡大
  - ・早期回復、合併症の予防のため積極的に介入
- ・摂食機能療法
  - ・脳卒中患者の感染予防、口腔機能向上のため嚥下チームと連携し積極的に介入
- ・口腔機能管理
  - ・早期退院へ向け、狭義の口腔ケアではなく広義の口腔ケアを実施

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- ・歯科衛生士連絡書の活用
  - ・静岡県歯科衛生会病院歯科連絡会へ7月・2月に参加
  - ・歯科衛生士連絡書作成7通
- ・診療クラークとの業務分担
  - ・外来業務・洗浄等の業務をクラークへ依頼
- ・生活習慣病に関する多職種連携によるチーム医療の推進
  - ・糖尿病教室毎月開催（歯周病と糖尿病の関係）



## 来年度に向けた決意表明

歯科衛生士として口腔管理で  
健康増進に寄与していきます！



## 2024年度成果

# 臨床支援技術科 臨床心理士



## 2024年度 重点目標の達成状況

### 小児・周産期

項目	目標	達成度
地域とともに実現する良質な小児、周産期医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産後ケア事業」への協力</li> <li>「妊産婦及び母子支援ネットワーク事業」に参加</li> <li>「磐田市就学支援委員会」に参加</li> <li>マルトリートメント児童対応に向けた行政との連携体制構築</li> </ul>	○

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



## 2024年度 重点目標の達成状況

### がん・緩和ケア

項目	目標	達成度
患者が安心して治療や相談を受けられる院内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い心理介入、意思決定支援</li> <li>AYAサポートチームの活動の充実</li> <li>がん患者・家族へのグリーフケア</li> </ul>	○

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



## 2024年度 重点目標の達成状況

### 高齢者支援

項目	目標	達成度
疾病予防啓発、重症化予防に向けた貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症化予防への貢献</li> <li>新しい認知機能検査および評価の実施</li> </ul>	○

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 小児・周産期

- 「ほっとサロン」「母親教室」の見直しと充実化
  - ・産科スタッフとともに方法等について検討した
  - ・ほっとサロンの周知工夫により参加者が増加したアンケート結果から、予防的な産後の心理サポートができた
- 小児病棟スタッフ向け心理勉強会の実施
  - ・医師、看護師に対し、2回おこなった
  - ・医学生に対し、11回おこなった



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### がん・緩和ケア

- 「がん相談支援センター」「がん診療センター」と協働しリーフレット【がんで大切な人を亡くされたあなたへ】を作成
- 2025/2/7に講演会【終末期家族支援～死別前からのグリーフケア】を企画  
当院心理士もグリーフケアの基本について講義  
今後は同内容でバリテスによる院内研修を実施し、周知・啓発
- がん患者指導管理料口の算定

### 高齢者支援

- 認知機能評価のため、新しい検査を導入  
臨床的認知症尺度 (CDR: Clinical Dementia Rating)実施



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度成果

# 臨床支援技術科 視能訓練士



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
手術前検査件数 (白内障・硝子体・緑内障)	545	560	497
処置前後検査 (外来)	574	1000	996



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	硝子体手術の理解を深める	○
2. 生き活きと働ける職場環境	検査室・診察室・処置室等の業務を共有することによりスキルアップ&希望休の取得率の向上につなげる	○
3. 地域ニーズへの対応	依託検査の継続・迅速対応 患者満足度をあげ近隣病院からの信頼を得る	○
4. 経営基盤の更なる強化	総合病院の強みを活かす	△

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 緊急の手術 処置に対応出来るように準備

- ・物品の整理 薬剤の確保
- ・処置室の管理
- ・全部門(検査室 診察室 処置室)の業務に対応  
→ローテーション 業務の見える化 プロセスの見直し
- ・スタッフの時差出勤等・・



## 来年度に向けた決意表明

---

わたしたち視能訓練士は  
市民の皆様に安心していただける眼科  
を目指します

ここに来てよかった と思っただけよう  
安心・安全で質の高い医療の提供  
親切・丁寧で迅速な対応を目指します



 磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
月平均紹介件数	1031	1050	1094
月平均逆紹介件数	1332	1300	1304
関係機関の訪問件数	202	330	280
医師との訪問件数	40	45	41

## 2024年度成果

# 地域医療連携室



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

・紹介件数、逆紹介件数の目標値達成！

<当院の特色がわかりやすい「診療のご案内」への改訂>

①見やすさを重視：カラー印刷へ変更

各診療科・部門にインデックスを付けた

②紹介時の予約の手間を削減：予約方法のページを巻頭に設置

各診療科の初診日を 一覧で掲載

③最新情報の提供：全科、部門にHPのリンク先QRコードを掲載

④増加する外国人患者：「国際医療支援室」のページを新設



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	急性期病院として高度な医療を提供するため高齢者救急の地域との連携体制の構築(下り搬送)	△
2. 経営基盤の更なる強化	入院や手術に繋がる紹介患者増加に向け、医療機関へ医師と訪問する	○
3. 地域ニーズへの対応	医療機関に限らない地域と顔の見える関係の構築 当院が果たすべき医療機能の理解を前提に、介護施設の協力医療機関として役割を果たす	○
4. 生き活きと働ける職場環境	業務にやりがいを持ち、偏りのない公平な年休取得を目指す	○

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

1. 高齢者救急の地域との連携体制の構築（下り搬送）
  - ・連携する病院との協議は終了、院内体制整備を調整中
2. 入院や手術に繋がる紹介患者増加に向け、医療機関へ医師と訪問
  - ・磐田市を中心に医師と同行し、開業医訪問を行った
- 3-1. 医療機関に限らない地域と顔の見える関係の構築
  - ・精神科連絡会に保健所の精神保健福祉に関わる方の参加を依頼、有意義な意見交換ができた
  - ・病院長の地域医療セミナーを5回開催、住民のみなさん180名が参加



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- 3-2. 当院が果たすべき医療機能の理解を前提に、介護施設の協力医療機関として役割を果たす
  - ・介護施設の連絡会や特養施設長連絡会で、省令改正にあわせた協力医療機関の締結の説明を実施
4. 業務にやりがいを持ち、偏りのない公平な年休取得を目指す  
年休取得日数は7日～15日と個人差があったが、年休取得における不満の声は聞かれなかった



## 来年度に向けた決意表明

相互理解と協力し合える関係を発展させる  
お手伝いをしていきたい



## 2024年度成果

# 入退院管理室



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
入院支援	9診療科	10診療科	11診療科
退院前カンファレンス	155件/年	160件/年	116件
平均在院日数	10.0日	9.9日	10.0日
医療機関・施設等 への訪問	36施設	40施設	44施設



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	患者・家族の意向に沿った退院支援・退院調整の実施 多職種と協働した支援の充実を図る	○
2. 生き活きと働ける職場環境	休暇の取りやすい環境づくり	○
3. 地域ニーズへの対応	後方医療機関、在宅ケア関係者との連携強化 カンファレンス、情報提供の充実	○
4. 経営基盤の更なる強化	効果的・効率的な病床管理 入退院支援加算に係る算定数の増加	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### \* 後方医療機関、施設等への訪問の強化

後方医療機関、介護施設への訪問を実施  
地域との連携にむけ、今年度は地域包括支援センターへも訪問し、顔の見える関係づくりや情報共有につとめた

### \* カンファレンス・情報提供の推進

退院前カンファレンスだけでなく、ケアマネジャーへの情報提供を積極的に実施

後方医療機関スタッフの患者訪問受け入れ



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### \* 外来支援体制の充実

外来通院中から在宅支援が早期に介入できるよう、外来スタッフの協力のもとスクリーニングシートを導入

### \* 院内外の多職種との連携

院内の各職種の皆様と情報共有し療養支援を実施

院外では、顔の見える関係を活かして転院調整・退院調整・療養支援を実施



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明

患者の意向に沿った退院支援・退院調整

効果的で柔軟な病床管理



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度成果

# 医療・福祉相談室



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
1. 質の高い医療の実現	相談業務に関わる院内外研修参加・資格取得 院内全体のメディエーションスキル向上	○
2. 生き活きと働ける職場環境	☆相談室での暴言・暴力対策の構築 相互に認め合える言葉掛け・態度	○
3. 地域ニーズへの対応	☆柔軟な相互連携による相談・支援の質向上	○
4. 経営基盤の更なる強化	入退院支援の充実	○

【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
総相談件数	8,504件	8,600件	5,816件
地域相談室との連携	—	3施設以上 年2回開催	3施設以上 年2回開催



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 2. 相談室内での暴言・暴力対策の構築

- 1) 入院受付室での入院支援担当者デスクに防犯ブザーを設置
  - ・防犯ブザー発報訓練を実施し、入院受付室用の防犯マニュアルを作成
- 2) 医療・福祉相談室での暴言・暴力対応シミュレーションを実施
  - ・相談室内での防犯マニュアルを作成



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 3. 柔軟な相互連携による相談・支援の質向上

2024年度4～5月

近隣の病院、施設に連携の意味と必要性について説明に伺い協力を要請

2024年9月13日

第1回 相談室連絡会開催

2025年2月27日

第2回 相談室連絡会開催

声掛けさせて頂いた施設  
・中東遠総合医療センター  
・公立森町病院  
・すずかけヘルスケアHP  
・磐田消防署



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明

今までの取組みや経験を糧に

チームの力を最大限に活用し

更に進化を続ける

## 32 医療・福祉相談室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度成果

# 病院総務課



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
2. 生き活きと働ける職場環境	病院総務課職員の負担軽減のため、課内業務の電子化を推進します	△
4. 経営基盤の更なる強化	内視鏡センターの実施設計を12月末までに完了します	○
4. 経営基盤の更なる強化	手術センターの改修工事を令和7年3月までに実施します	×



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
2. 生き活きと働ける職場環境	定年延長への対応や適切な人材確保に取り組むため、定数条例を改正します	○
2. 生き活きと働ける職場環境	磐田市のシステム変更に対応するため、病院専用の人事・給与・庶務事務システムを導入します	○
2. 生き活きと働ける職場環境	医療部の人事評価システムの見直しを行います	○
2. 生き活きと働ける職場環境	医師の勤務環境改善のため、時差勤務制度を導入します	○
2. 生き活きと働ける職場環境	看護師長業務の負担軽減のため、看護部勤務表作成システムを導入します	○



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取り組み

- ◆ 職員定数の改正
  - 30人増員の条例改正案を11月議会に上程・可決
- ◆ 人事給与システムの導入
  - 10月カスタマイズ確認、11月操作研修実施、1月導入
- ◆ 医療部の人事評価システムの見直し
  - 能力評価の変更、多面評価可能なシステム導入
- ◆ 医師の時差勤務制度の導入
  - 小児科で導入



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

- ◆看護部勤務表作成システムの導入  
10月にプロポーザル実施、4月稼働に向け調整中
- ◆業務の電子化の推進  
源泉徴収票(会計年度)PDF化実施・メール配信予定  
非常勤職員支給明細のPDF化は実施検討中
- ◆内視鏡センターの実施設計完了(12月末)  
進捗管理に努め1月末完了
- ◆手術センター改修工事の実施  
入札の不調等により令和7年7月完成予定



## 来年度に向けた決意表明

職員に**信頼**され、  
職員が期待する**成果**が出せる  
**病院総務課**を目指します！



## 2024年度成果

### 医事課



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
4. 経営基盤の更なる強化	未収金残高の1,500万円削減	×
8-3. デジタル化への対応	マイナ保険証の利用率7月末で20%、年度末で50%超の達成	×



【達成度欄の表示について】○:達成、△:一部達成、×:未達成

磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
未収金残高	(百万円) 117	(百万円) 102	(百万円) 112
マイナ保険証 月間利用率 (名寄せ後)	(%) 2	(%) 7月末 20 年度末 50	(%) 7月末 15 12月末推計 45



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 未収金対策

- ①督促・催告サイクルの前倒し**
  - ・月単位の管理→日単位の管理
  - ・督促、弁護士委託を最長1か月前倒し
- ②患者さんとの面談強化**
  - ・早期の面談実施
  - ・健康保険や公費受給、労災申請、事故一括対応の早期確認と支援
- ③医療費後払いサービスの利用促進**
  - ・待合での動画放映による啓発
  - ・案内チラシの配布と操作支援

### マイナ保険証対策

- ①資格確認端末の増設**
  - ・再診予約受付機横に端末3台を増設、最初に資格確認できる環境を整備
- ②資格確認端末の操作支援**
  - ・増設端末付近での操作支援(6月～8月、11月～12月)
- ③啓発動画放映とチラシの配布**
  - ・デジタルサイネージを利用し、待合や玄関等で啓発動画放映



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 来年度に向けた決意表明

---

- ★**早期の面談**による未収金発生の**未然防止**に努めます。
- ★**マイナ保険証**を活用してより良い**医療の提供**と患者さんの**利便性の向上**を図ります。



## 2024年度成果

# 経営企画課



## 2024年度 重点目標の達成状況

項目	目標	達成度
Vibrant Hospitalの実現	実施計画達成率の内訳は、○69.8%、▲20.8%、×11.4% 今年度は▲を○へ変換して○80%とすることに注力します	○
1. 質の高い医療の実現	がん診療センターの事務局として、質の高い医療提供体制を継続、強化するため、医療スタッフを支援します	○
2. 生き活きと働ける職場環境	医療情報システムの更新を通じて、IT化・病院DXの活用が業務の軽減と効率化につながるよう取り組みます	○
4. 経営基盤の更なる強化	スタッフの病院経営への積極的関与を促し、各部署がプロフィットセンターとして機能することを支援します	○
4. 経営基盤の更なる強化	一日あたりの入院患者数400人、一月あたりの新入院患者数1,050人、DPC期間Ⅱ以内の退院率73%を早期に達成し、安定した経営となるようデータ分析と提案に取り組みます	△

【達成度欄の表示について】○：達成、△：一部達成、×：未達成



## 2024年度 診療数値目標の達成状況

項目	2023年度	2024年度 目標値	2024年度 4月-1月実績
第3次中期計画 実施計画 達成率	69.8%	80%	85.2%
公立病院経営強化プラン 収支計画 経常収支比率	93.3%	98.3%	88.9%



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 数値目標

#### ・中期計画 実施計画達成率

昨年度実績△38項目を○にするため、経営企画課職員全員で対象部署(21部署)をサポート

#### ・経常収支比率

外部環境の変化(診療報酬の抑制、人件費上昇、物価高)が激しい中、施設基準届出や管理をサポート



## 2024年度の目標達成に向けた取組み

### 重点目標

- ・がん診療センターの支援  
課題対応52/55項目 院内エキスパートパネル開催など
- ・医療情報システムの更新  
新ベンダーとしてソフトウェアサービスを選定、運用構築へ
- ・スタッフの経営への関与を促す  
経営塾卒業38名 各部署がプロフィットセンターを目指す
- ・入院患者数、DPC期間Ⅱ以内退院率  
達成：一月あたり新入院 未達：一日あたり入院、退院率



## 来年度に向けた決意表明

経営企画課は、「**縁の下の力持ち**」

として病院経営に貢献したいと考えています。

私たち、経営企画課のお客様は、「**患者さんや地域の関係者に加えて、病院の職員の皆様全員**」です。

**「明るく楽しく、そしてスピーディーに」**

をモットーに、何事にも真摯に対応しますので何でもご相談ください。今後とも、どうぞよろしく申し上げます。

